

## 心臓血管外科

### 【一般目標】

- 1) 医療者の一員として心血管疾患に対する診療に従事することで、問題解決型の思考過程、基礎的診療手技および専門的な技能、信頼関係構築のための適切な患者対応、医師としての責任感を、自らの積極的な実習姿勢の中で学ぶ。
- 2) 講義で学んだ基礎知識を再確認し、さらに、座学では得られなかった、実臨床に即した実践的知識を身につける。
- 3) 実際の医療に接するなかで、自分の理想の医師像を具体的に構築する。

### 【到達目標（行動目標）】

- 1) 心臓・血管疾患に関する病態生理および臨床経過を正確に把握し、問診と理学的所見から得られた身体情報とを総合判断することができる。
- 2) 臨床検査（心臓カテーテル検査、心臓および末梢血管超音波検査、CT 検査、末梢血管ドップラー検査など）の結果を理解し、正しく評価できる。
- 3) 心臓・血管手術に必要な局所解剖を理解できる。
- 4) 手術時に使用する人工材料（人工血管、人工弁、ペースメーカーなど）、体外循環法について理解できる。
- 5) 心臓血管手術後の周術期集中治療管理（人工呼吸器の設定と管理、循環動態作動薬の選択および使用、一時的ペースメーカーの使用法、大動脈内バルーンポンピング法などの補助循環法）の治療原理や機器の適応を理解できる。
- 6) 日常臨床で遭遇する重要な事柄・疑問点について自主的に学習できる。
- 7) 医療安全を十分に理解し、医療事故を回避すべく安全確認を適切に実行できる。
- 8) 患者および家族と意思疎通を図り良好な信頼関係を築いた上で診療を行なうことができる。
- 9) **Medical team** を担う各医療スタッフ（看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー）の役割・診療内容を理解し、チームの一員として回診に参加できる。

### 【注意事項】

- 1) 何を学習し、体得したいのかを明確にし、その意思表示をすること。

- 2) 手術室では清潔と不潔の区別に留意すること。また術中に使用される縫合針やメスなどには十分に注意し、針刺し事故を起こさないようにすること。
- 3) 欠席および遅刻の場合は、指導医に連絡をとり了解を得ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日 8:30分から実習オリエンテーションを行う。
- 2) 実習期間中、指導医と行動を共にすること。担当指導医を割り当てるが、複数の指導医で対応することが多く、各指導医の指示に従って実習をすすめること。
- 3) 担当指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として医療に参加すること。病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、指導医とディスカッションを行う。
- 4) 手術実習では、①手洗い参加、②手洗いをせず周辺から見学、③術中モニターや既存の手術ビデオの閲覧、④実習用模型やシミュレーター、豚の臓器（心臓）を用いた解剖実習や縫合練習、などの方法がある。
- 5) 金曜日の多職種術前検討会の際には、手術患者の概要と手術術式を簡潔にプレゼンテーションしていただくので、患者情報をまとめて主要な検査結果を理解するなど、指導医とともに事前に準備しておくこと。
- 6) 当科で行われている手術内容を以下に示す。  
年間手術数は約 400 例で、そのうち心大血管手術が 80~90 例である。
  - ①冠状動脈バイパス術および心筋梗塞合併症（左室瘤、心室中隔穿孔、乳頭筋断裂）に対する手術
  - ②弁膜症手術（人工弁置換術、弁形成術）
  - ③胸部・腹部大動脈瘤、大動脈解離に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術
  - ④その他の開心術（心臓腫瘍、成人期先天性心疾患など）
  - ⑤閉塞性動脈硬化症および末梢動脈瘤に対するバイパス手術および血管内治療
  - ⑥下肢静脈瘤手術
  - ⑦透析関連手術（内シャント作成術、内シャント修復術、動脈表在化）

# J A 広島総合病院

## 【週間スケジュール】

	7:30~8:00	8:00~9:00	9:00~12:00	13:00~
月	英文抄読会 (心外・循環器内科合同)	病棟回診・処置	手術 (全麻)	手術 (全麻)
火		病棟回診・処置	病棟診療	手術 (局麻) 病棟カンファレンス
水	シネカンファレンス (心外・循環器内科合同)	病棟回診・処置	手術 (全麻)	手術 (全麻)
木	術前カンファレンス	病棟回診・処置	手術 (全麻)	手術 (全麻)
金	病棟回診・処置	レクチャー	病棟診療	手術 (局麻) 多職種チーム回診 多職種術前検討会

月・水・木・金曜日：可能であれば7時30分に出勤

火曜日：8時30分に出勤

## 【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
心臓血管疾患領域に関する知識・理解度	70点
指導医による行動・態度・姿勢・意欲・コミュニケーションの評価	20点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点

## 【実習指導医】

濱本 正樹 主任部長

心臓血管外科修練指導者、日本外科学会指導医

小林 平 主任部長

日本脈管学会認定脈管専門医、日本血管外科学会認定血管内治療医

小澤 優道 部長

胸部および腹部大動脈ステントグラフト指導医、日本脈管学会認定脈管専門医

海氣 勇気 医員